

社団法人私立大学情報教育協会
平成 21 年度 第 2 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム
土木工学グループ運営委員会 議事録 (案)

- I. 日時 : 平成 21 年 10 月 22 日(木) 13:30~15:30
II. 場所 : 中部大学名古屋キャンパス 5 階 510 教室
III. 出欠 : 塩見委員、北詰委員、片田委員 (欠席)
井端事務局長、森下、

【検討事項】

1. 記録担当 北詰委員

2. 学士力の詳細設計について
 - ・第 1 回の議論の結果をもとに、共通の到達目標をイメージしたコアカリ、到達目標、測定手段について検討した。その結果、別紙のようにまとめられた。

3. 今後の検討スケジュールについて
 - ・23 日に整理したものをメールで配信し、確認した後、約 10 日間、ご意見を伺う期間を設け、理事会にかける。
 - ・東京都市大学片田敏行先生にも資料を送付し、ご意見を伺う。

4. その他
 - ・次回の委員会開催日 11 月 12 日(木) 11 時 00 分から 13 時 00 分
場所 私立大学情報教育協会会議室

委員会(案)検討中

土木工学系士力(案)

平成 21 年 10 月 22 日
CCC 土木工学運営委員会

1. 構造力学系、測量系、地盤系、コンクリート系、水理系、環境系、土木計画系など、土木工学の専門基礎を身につけている。

【コア・カリキュラムのイメージ】

構造力学、測量、地盤、コンクリート、水理、環境、土木計画、土木基礎実験など

【到達度】

- ① 数学や物理、情報技術などの工学的基礎知識を身につけている。
- ② 身につけた工学知識をもとに設計に関する計算技術を身につけている。
- ③ 環境を踏まえた土木計画手法を身につけている。
- ④ 土木の基礎実験技術を身につけている。

【測定方法】

- ①は、筆記試験などにより確認する

②と③は、筆記試験および課題演習などにより確認する。

④は、取り組み姿勢やレポートにより確認する。

2. 「設計、施工、維持、管理」を総合的にマネジメントする観点から各工程の仕組みを理解できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

設計、施工、維持・管理、アセットマネジメント、プロジェクトマネジメントなど

【到達度】

① 安全性、経済性、機能性及び環境に配慮し、設計から管理に至るまでの知識を理解している。

② 設計、施工、維持・管理の方法論を理解している。

③ 事業工程全体の仕組みを理解し、知識や方法論と関連付けることができる。

【測定方法】

①と②は、筆記試験などにより確認する。

③は、実習を通じた経験を発表させ、ディスカッションにより確認する。

3. 社会基盤整備において、技術者倫理の重要性を認識し、自然および社会に及ぼす影響・効果の重大性を理解している。

【コア・カリキュラムのイメージ】

技術者倫理、関連法規、環境工学、社会科学、土木史など

【到達度】

① 社会基盤を共通資産として捉えることができる。

② 生活や経済産業を支える観点から土木事業を理解できる。

③ 安心・安全の観点から土木事業の重要性を理解できる。

【測定方法】

①から③は、レポート、ディスカッション等により確認する。

4. 自然・社会・文化・歴史などに親しみ、土木施設・構造物の改良や新しい仕組み・技術などを提案できる。

【コア・カリキュラムのイメージ】

課題演習、インターンシップ、フィールドワーク、卒業研究など

【到達度】

① 自然・社会・文化・歴史などの調和を踏まえた課題を自ら設定できる。

② 設定した課題に対し、「解」を求め、提案・発表することができる。

【測定方法】

①は、レポート、ディスカッション等により確認する。

②は、課題演習、インターンシップなどの発表会、卒業研究により確認する。